

議長(平沼)

次ニ

鐵道省官制中改正ノ件

臺灣總督府官制中改正ノ件

臺灣總督府地方官官制中改正ノ件

奏任文官特別任用令中改正ノ件

商工省物價事務官等ノ特別任用ニ關スル

件

以上五件ヲ一括シテ議題ニ供ス第一讀會ヲ

開キ朗讀ハ之ヲ省略シテ直ニ審査報告ヲ爲

サシム

報告員(村上)

謹デ此ノ五件ヲ審査シタルニ

第一 鐵道省官制中改正ノ件

輓近地方鐵道軌道及自動車運輸ノ陸上交

通事業ハ異常ナル發達ヲ遂ゲタルモ從來

ハ寧口事業ノ擴張ニ急ナリシ爲メ現在ノ

狀況ニ於テハ同一地域ニ重複シテ存在シ

事業相互ノ連絡ヲ缺キ其ノ間ニ營業上ノ

競争ヲ生ジ弊害尠カラザルモノアリ斯ク

ノ如キハ公共ノ性質ヲ有スル交通事業ノ

使命ヲ遂行スル所以ニ非ザルノミナラズ
 之ヲ國家總動員ノ見地ヨリ看ルモ此ノ儘
 ニ差措キ難キニ由リ右等ノ弊害アル陸上
 交通事業ニ適當ナル調整ヲ加ヘテ一方ニ
 ハ二重投資ノ不經濟ヲ除キ他方ニハ利用
 者ノ便益ヲ増シ以テ事業ノ健全ナル發達
 ヲ圖ルノ必要緊切ナリ然ルニ各事業ニ特
 殊ノ事情アリ相反スル利害關係アリテ之
 ヲ關係事業經營者ノ自治的調整ニ委ヌル
 ノミニテハ到底充分ノ成果ヲ期待シ難ク

相
 密
 院

必要ニ應ジテ主務官廳ヨリ行政上ノ措置
 ヲ行ハザルベカラザルガ故ニ之ガ爲メ本
 年四月陸上交通事業調整法ナル法律ガ制
 定公布セラレ主務大臣ハ陸上交通事業ニ
 付調整ノ區域竝ニ調整スベキ事業ノ種類
 及範圍ヲ定メ事業經營者ニ對シ會社ノ合
 併又ハ設立ヲ勸告シ事業ノ讓渡又ハ共同
 經營運輸ノ連絡其ノ他調整上必要ナル事
 項ノ實施ヲ命ズルコトヲ得ルモノトセラ
 レ此ノ法律ハ本年八月一日ヨリ之ガ實施

ヲ見ルコトト爲レリ仍テ右法律ノ施行ニ
關スル事務ヲ掌理セシムル爲メ鐵道省監
督局ニ調整課ナル一課ヲ新設スルコトト
シ本件ハ其ノ課長ニ充ツベキ書記官一人
竝ニ課員ニ充ツベキ事務官三人技師一人
屬十九人及技手八人ヲ増員セントスルモ
ノナリ

第二 臺灣總督府官制中改正ノ件

本件ハ臺灣總督府ニ於テ(一)從前本府ノ掌
理シタル南支及南洋關係ノ諸施設ハ現下

ノ情勢ニ照シ愈々重要性ヲ加へ來リシニ
由リ其ノ事務ヲ擔當スル中心ノ部局タル
總督官房ノ外事課ヲ聊カ擴張シテ外務部
ト爲シ勅任ノ事務官ヲ以テ其ノ部長ニ充
ツルコトトスル爲メ事務官中勅任ト爲シ
得ベキ定數一人ヲ増員シ又支那語ノ智識
ヲ必要トスル涉外事務益々増加シタルニ
由リ其ノ智識アル者ヲ右ノ總督官房外務
部ニ配置スル爲メ翻譯官一人ヲ増員シ(二)
本島ノ住民殊ニ諸學校ノ學生生徒兒童ノ

體位ノ向上ヲ圖ル爲メ新ニ奏任ノ體育官
 及判任ノ體育官補各專任一人ヲ置キ文教
 局ニ屬セシメ體育官ハ上官ノ命ヲ承ケ體
 育運動及學校衛生ニ關スル事務ヲ掌リ體
 育官補ハ上官ノ指揮ヲ承ケ體育官ノ事務
 ヲ助クルモノト爲シ(三)我が國體觀念ヲ基
 調トスル島民同化ノ徹底ヲ期スル爲メ教
 化指導者養成ノ中心機關ト爲リ兼ネテ一
 般人民ノ國民精神陶冶ノ指導機關ト爲ル
 ベキ國民精神研修所ヲ新ニ文教局ニ附置

シ國民精神ノ研修ニ關スル事務ヲ掌ラシ
 ムルコトトシ其ノ名稱及位置ハ總督ヲシ
 テ之ヲ定メシメ同所ニ奏任ノ指導官專任
 一人ヲ新置シ上官ノ命ヲ承ケ國民精神ノ
 研修ニ關スル指導ヲ掌ラシムルコトトシ
 (四)外國貿易ノ振興統制ヲ圖ル爲メ一層精
 密ナル統計ヲ整備スルノ必要アルニ由リ
 其ノ事務ニ從事セシムル爲メ財務局ニ配
 置スベキ屬一人ヲ増員シ(五)昭和八年五月
 以來臨時職員ヲシテ擔當セシメタル外國

爲替管理ニ關スル事務ハ爾後ノ情況ニ照シ之ヲ恒久化スルノ必要アルニ由リ其ノ臨時職員中屬二人ヲ財務局所屬ノ經常職員ニ組替へ(六)昨年十二月臺灣商工會議所令ノ施行以來各地ニ商工會議所ノ設立セラルルニ伴ヒ之が指導監督ニ關スル恒久的事務漸ク多キヲ加フルニ由リ同令施行ニ關スル事務ノ爲メ設置シタル臨時職員屬一人ヲ殖産局所屬ノ經常職員ニ組替へ(七)森林施業案實施ノ爲メ曩ニ設定シタル

二十九ノ事業區中南澳大溪新港臺東及里壠ノ五事業區ニ於テハ本年度ヨリ林產物ノ處分ノ外造林ヲ開始スルコトト爲リタルニ付其ノ中地域邊陲ニシテ專任者ヲ置クノ要アル臺東及里壠ノ二事業區ノ造林ノ事務ニ從事セシムル爲メ營林所東部出張所ニ配置スベキ技手一人ヲ増員シ(ハ)管内森林資材總量ノ約六割五分ヲ占ムル潤葉樹材ハ從來殆ド利用セラレザリシモ營林所嘉義出張所ニ人工乾燥ノ設備ヲ新設

シ其ノ材質ヲ改善シテ用途ヲ開拓セント
 スルニ付其ノ事務ニ從事セシムベキ技手
 一人ヲ増員シ(九)近時特ニ重要ト爲リタル
 氣象觀測ノ機關ヲ擴充スル爲メ從前ノ本
 府內務局附屬ノ測候所ニ代フルニ別個ノ
 官制ニ依リテ設置スル氣象臺ヲ以テスル
 コトトスルニ付測候所及其ノ職員ニ關ス
 ル條項ヲ削除シ同所ニ配置シタル屬一人
 ヲ減員シ以上各項ヲ通ジテ國民精神研修
 所指導官、體育官及體育官補各一人ヲ新置

シ事務官ノ勅任定員一人ヲ増加スルノ外
 翻譯官一人、屬三人及技手二人ヲ増員シ測
 候所ノ技師六人及技手三十四人ヲ減員セ
 ントスルモノナリ

第三 臺灣總督府地方官官制中改正ノ件

本件ハ(一)臺東及花蓮港ノ二廳ニ於テ其ノ
 管内各種產業ノ發達ヲ圖ルノ要アリ且其
 ノ見込充分ナルニ由リ其ノ企畫經營及指
 導監督ニ關スル事務ヲ掌理スベキ機構ヲ
 充實スル爲メ右ノ二廳ニ勸業課ヲ新設シ

其ノ課長ニ充ツベキ地方理事官二人並ニ
 課員ニ充ツベキ屬三人及技手二人ヲ増員
 シ(二)近時各地ニ於ケル産業ノ勃興ニ伴ヒ
 火藥類ノ需要頗ニ増加シ從テ其ノ輸移入
 量及貯藏量モ亦著シク増加シ之ガ取締ノ
 事務増加シタルニ由リ其ノ事務最多ナル
 臺北、臺中及高雄ノ三州ニ配置スベキ技手
 三人ヲ増員シ(三)嘗テ水害額ノ最多ナルヲ
 以テ聞エタル下淡水溪ハ十一年ノ歲月ト
 千三百八十餘萬圓ノ經費トヲ費シテ其ノ

治水工事近ク竣成シタルニ由リ其ノ取締
 及保護ニ當ラシムル爲メ高雄州ニ配置ス
 ベキ河川監視七人ヲ増員シ以上各項ヲ通
 ジテ州廳ノ職員中地方理事官二人屬三人
 技手五人及河川監視七人ヲ増員セントス
 ルモノナリ
 以上三件ニ於ケル職員ノ増員ニ要スル經費
 ハ既ニ本年度歳出豫算ニ計上セラレタリ
 按ズルニ本案ノ三件ハ鐵道省、臺灣總督府及
 同地方廳ニ於テ新法律ノ施行ニ伴ヒ又諸般

事務ノ増進ニ應ジ竝ニ事務改善ノ目的ヲ以テ機構ノ改善官職ノ新設及職員ノ増減ヲ行フ爲メ各其ノ官制ノ現行規定ニ一部ノ改正ヲ加ヘントスルモノニシテ孰レモ實際ノ必要ニ基クモノト認メラル

第四 奏任文官特別任用令中改正ノ件

近時南洋廳所管各郵便局ニ於ケル通信業務ハ管内移任者ノ増加各種産業ノ勃興其ノ他各般情況ノ進展ニ伴ヒ逐年繁劇ヲ來セルヲ以テ其ノ能率ノ増進ヲ圖ル爲メ今

般別件ノ勅令ヲ以テ南洋廳郵便局官制ニ一部ノ改正ヲ加ヘ其ノ事務最モ多量ナルサイパン郵便局ノ局長ニ充ツル爲メ新ニ奏任ノ通信事務官專任一人ヲ置キ其ノ外職員若干ヲ増員シ通信事務官ハ局長トシテハ南洋廳長官ノ命ヲ承ケテ局務ヲ掌理シ部下ノ職員ヲ指揮監督シ其ノ他上官ノ命ヲ承ケテ事務ヲ掌リ又必要ニ應ジ通信ニ關スル南洋廳ノ事務ヲモ掌ルモノト爲サントスルニ付該官ハ其ノ職務ノ性質上

竝ニ類似ノ先例ニ徴シ其ノ任用ヲ普通任用ノ資格アル者ノミニ限定スベカラザル事由アルニ依リ本件ヲ以テ奏任文官特別任用令列記ノ諸官中ニ右ノ南洋廳通信事務官ヲ追加シ同官ハ同令所定ノ官歴アル者ノ中ヨリ高等試験委員ノ銓衡ヲ經テ特ニ之ヲ任用スルコトヲ得ルモノト爲サントスルモノニシテ已ムヲ得ザル必要ニ出ヅルモノト認メラル

第五 商工省物價事務官等ノ特別任用ニ關

スル件

現下ノ時局ニ於ケル主要ナル經濟對策ノ一タル物價ノ調節ニ關シテハ政府ハ客年八月商工省令第十號ヲ以テ暴利ヲ目的トスル賣買ノ取締ニ關スル件ナル規程ヲ改定シ主要ナル物品ヲ指定シテ其ノ買占賣惜其ノ他暴利ノ目的ヲ以テスル取引行爲ニ對スル取締ヲ嚴重ナラシメタル外昭和十二年法律第九十二號(輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律)第二條ノ規定ニ

材

密

附

基キ制定シタル昭和十三年商工省令第五
 十六號物品販賣價格取締規則ヲ以テ商工
 大臣又ハ地方長官ニ於テ物品又ハ販賣價
 格ヲ指定シテ其ノ價格ヲ取締ルコトヲ得
 ルコトトシ又物價ニ關スル重要事項ヲ調
 査審議セシムル爲メ商工省ニ中央物價委
 員會、北海道及各府縣ニ地方物價委員會ヲ
 設ケ著々物價騰貴ノ抑制ニ努ムル所アリ
 然ルニ此等ノ物價調節ニ關スル事務竝ニ
 地方ニ於テ之ト密接ノ關聯アル消費節約

貯蓄獎勵ニ關スル事務ヲ處理セシムル爲
 メニハ中央及地方ヲ通ジテ相當員數ノ專
 任職員ヲ置クノ必要アリ仍テ今回別件ノ
 勅令ヲ以テ商工部内臨時職員設置制ニ改
 正ヲ加ヘ商工省商務局ニ屬シテ物價統制
 ニ關スル事務ニ従事スル者ノ中ニ物價事
 務官奏任專任七人ヲ新置シ同官ハ上官ノ
 命ヲ承ケ物價ノ調査及取締ニ關スル事務
 ヲ掌ルモノトシ又廳府縣臨時職員等設置
 制ニ改正ヲ加ヘ物價調整及貯蓄獎勵ニ關

スル事務ニ從事セシムル爲メ北海道廳及
府縣ヲ通ジテ地方事務官專任九人竝ニ屬
及技手若干人ヲ増置シ廳府縣ニ物價調整
官及物價調整官補ヲ置クコトヲ得シメ夫
レ夫レ事務官及屬ヲ以テ之ニ充テ上官ノ
命ヲ承ケ物價調整及貯蓄獎勵ニ關スル事
務ニ從事スルモノトセントス然ル處右ノ
商工省物價事務官竝ニ北海道廳事務官又
ハ地方事務官ニシテ物價調整官ニ補セラ
レ專ラ物價調整及貯蓄獎勵ニ關スル事務

ニ從事スルモノハ其ノ職務ノ性質ニ鑑ミ
其ノ任用ヲ普通任用ノ資格アル者ノミニ
限定セズ廣ク適材ヲ求ムルノ必要アルガ
故ニ本件ヲ以テ之ガ爲メニ特別任用ノ規
程ヲ設ケ右ノ二官ハ高等試験合格其ノ他
正規ノ資格ナキモ各々其ノ職務ニ必要ナ
ル學識經驗ヲ有スル者ノ中ヨリ高等試験
委員ノ銓衡ヲ經テ特ニ之ヲ任用スルコト
ヲ得ルモノト爲サントスルモノナリ乃チ
本件ハ商工省及北海道廳府縣ニ於テ新規

特殊ノ事務ヲ處理セシムル爲メニ設置ス
ル官ニ付實際ノ必要ニ因リ特別任用ノ制
ヲ立テントスルモノニシテ已ムヲ得ザル
モノト認メラル
仍テ以上ノ五件ハ總テ此ノ儘之ヲ可決セラ
レ然ルベシト思料ス

右謹デ審査ノ結果ヲ報告ス

二十八番(石塚)

臺灣總督府官制中改正ノ件ニ

付總督官房ノ外事課ヲ外務部トシテ之ニ勅
任事務官ヲ置クノ理由ハ南支及南洋關係ノ

諸施設愈々重要性ヲ加ヘ來リシニ因ルコト
説明書ニ依リ之ヲ了解セリ果シテ然ラバ假
令其ノ定員ハ少クトモ事務重要ナルガ故ニ
外務部ハ之ヲ官制中ニ明記シテ可ナリシ筈
ナリ今回ノ改正ノ如ク單ニ外事課ヲ外務部
ト改稱シ依然之ヲ官房内ニ置ク趣意ナラバ
總督府内部ノ分課規程ノ改正事項タルニ止
マル併シ外務部長ハ局長ト同列ノモノナレ
バ須ク官制ヲ以テ之ヲ規定スベカリシニ非
ズヤ總督府内部ニ於ケル本案審議ノ模様如

何

委員(副島)

外事課ヲ擴張シテ外務部ト爲スニ

付之ヲ官制ヲ以テ規定スベカリシニ非ズヤ

トノ御質問ハ御尤ニシテ其ノ點ハ本改正案

審議ノ際考慮シタル所ナルモ該部ハ職員數

少ク加之朝鮮總督府ノ外事課が一昨年外事

部ト爲リ勅任部長ガ置カレタル際ニモ官制

改正ヲ行ハズ分課規程ノ改正ニ止メタルコ

トトノ權衡ニ考ヘ本案ノ改正中ニ其ノ規定

ヲ設ケザリシナリ

機密
附
際

二十八番(石塚)

御趣旨ハ一應了承セリ併シ臺

灣ニ於ケル南支及南洋關係ノ涉外事情ニ至

リテハ或ハ朝鮮ト同日ノ論ニ非ザルベシ本

官ハ差當リ本案ノ改正ハ已ムヲ得ザルモノ

トシ唯將來外務部ヲ官制上ノ部ニ昇格セラ

レシコトノ希望ヲ附シテ本案ニ賛成ス

議長(平沼)

他ニ御發言ナキ故第二讀會以下ヲ

省略シテ直ニ採決スベシ本案賛成ノ各位ノ

起立ヲ請フ

(全員起立)

區
券
完

議長(平沼) 全會一致可決セラレタリ

本日ハ之ニテ閉會ス

聖上入御

午前十一時十分閉會

議長男爵平沼騏一郎

書記官長村上恭一

書記官

堀江系雄

武友滋雄

相
密
際

第一號 世傳御料地ニ地上權設定ノ件

世傳御料千頭御料地ノ内ニ有償ニテ左

記ノ通地上權ヲ設定スルコト

一 設定ノ土地

静岡縣遠江國榛原郡上川根村大字

千頭壹番林地貳萬貳千貳百八拾參

町壹段七畝四步ノ内

標
密
際

拾參町八段九畝步

一 設定ノ目的

水力發電用貯水池及土砂留堰堤所
有ノ爲

一 存續期間

昭和 年 月 日ヨリ昭

和拾參年貳月貳拾日迄

一 地上權者

富士電力株式會社

第二號 世傳御料地ニ地上權設定ノ件
 世傳御料千頭御料地ノ内ニ有償ニテ左
 記ノ通地上權ヲ設定スルコト
 一 設定ノ土地

静岡縣遠江國榛原郡上川根村大字
 千頭壹番林地貳萬貳千貳百八拾參
 町壹段七畝四步ノ内

貳町貳段貳畝拾六步

一 設定ノ目的

水力發電用放水路隧道餘水路其ノ

他電氣事業用工作物所有ノ爲

一 存續期間

昭和 年 月 日ヨリ昭

和參拾四年貳月貳拾日迄

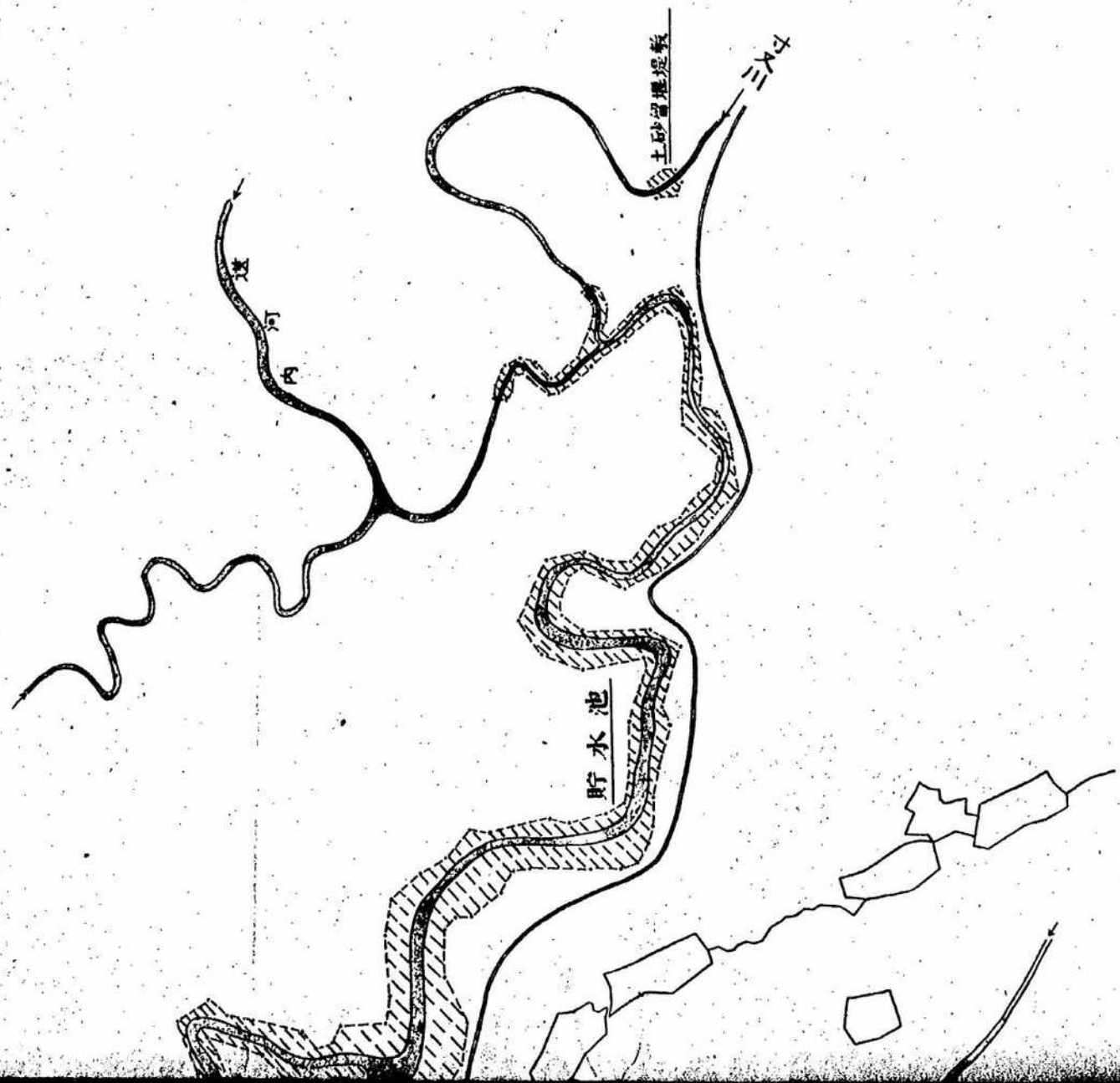
一 地上權者

富士電力株式會社

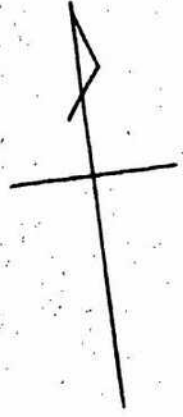
地上權設定見込地實測圖

壹葉

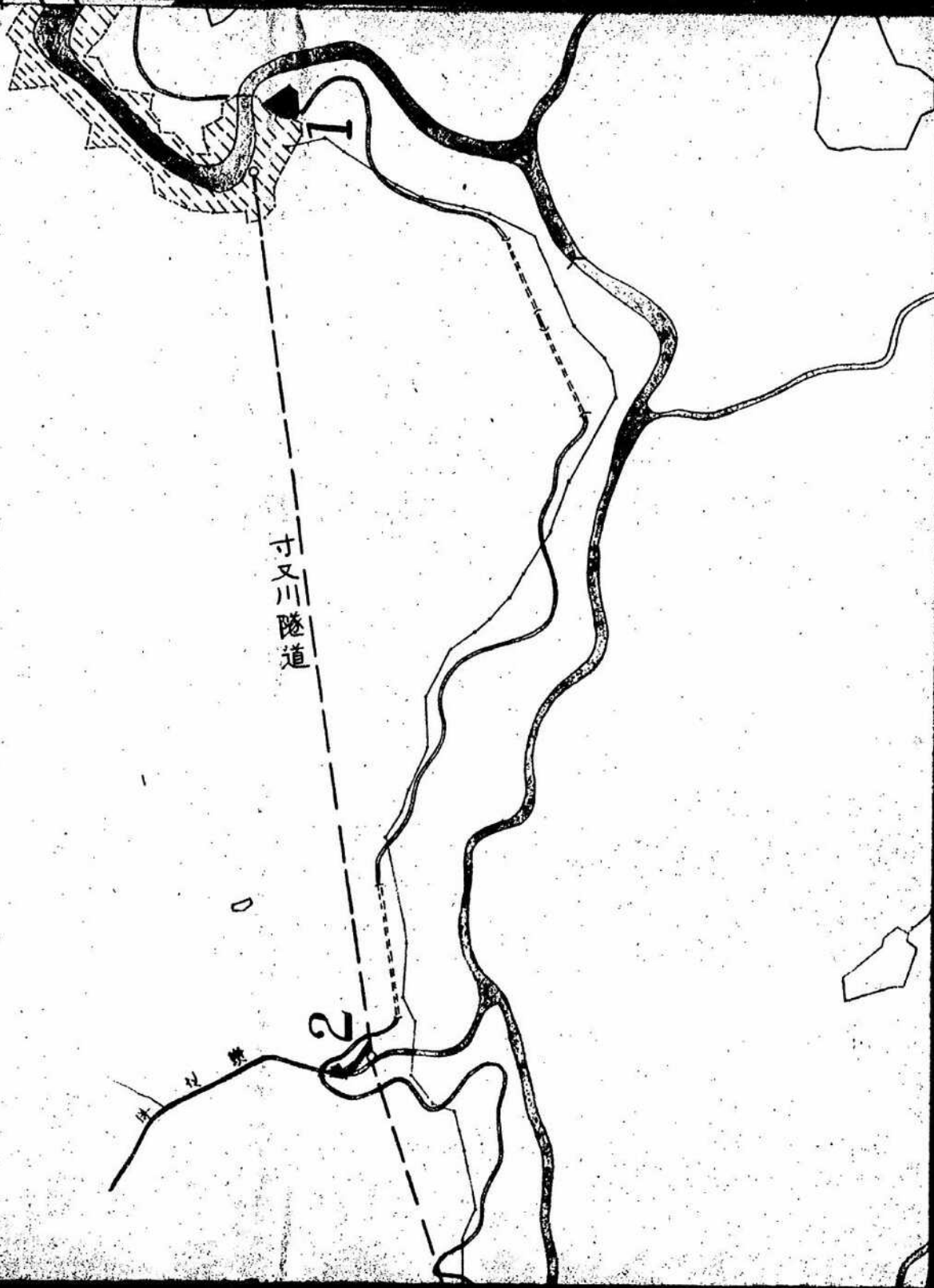
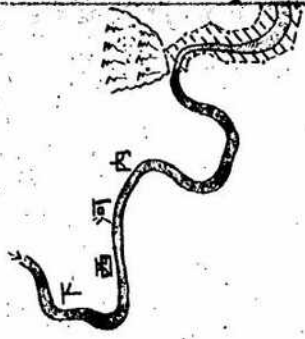
相
密
院



地上権設定見地

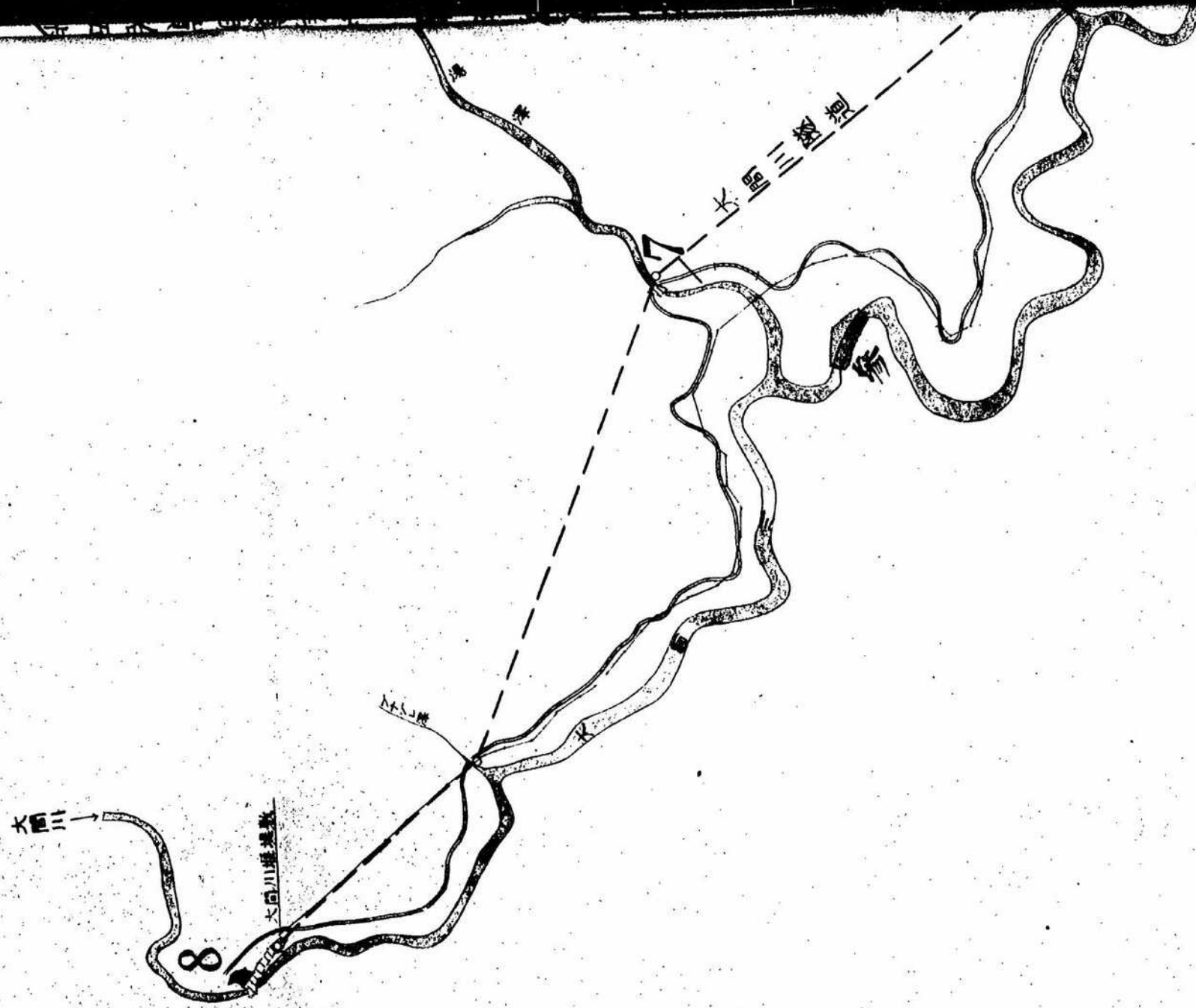


1 / 10000

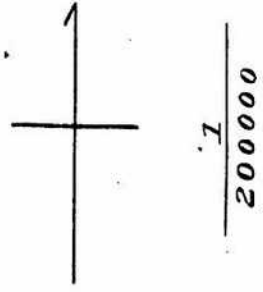


身辺實地測量圖

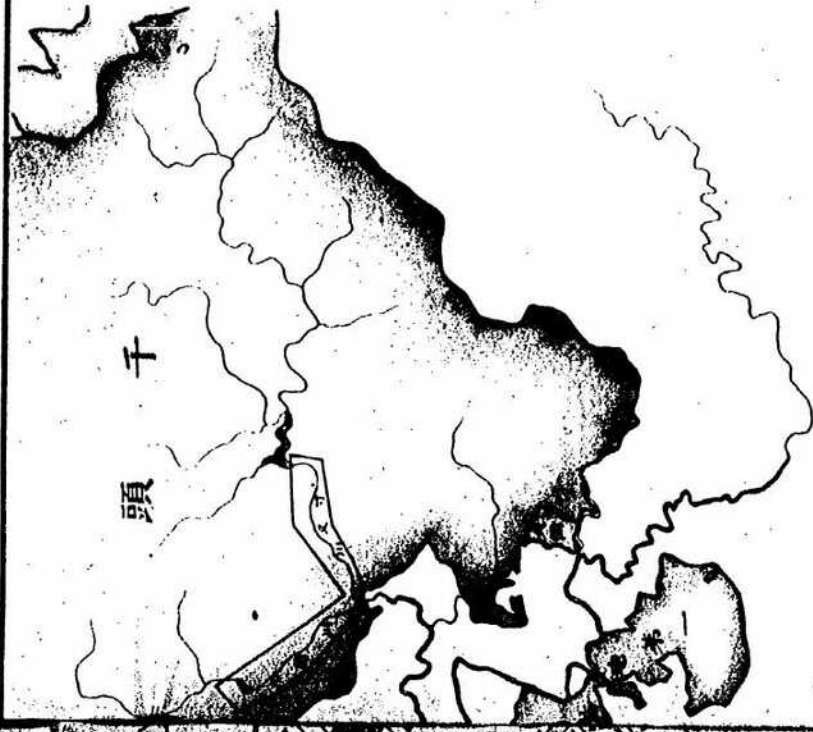




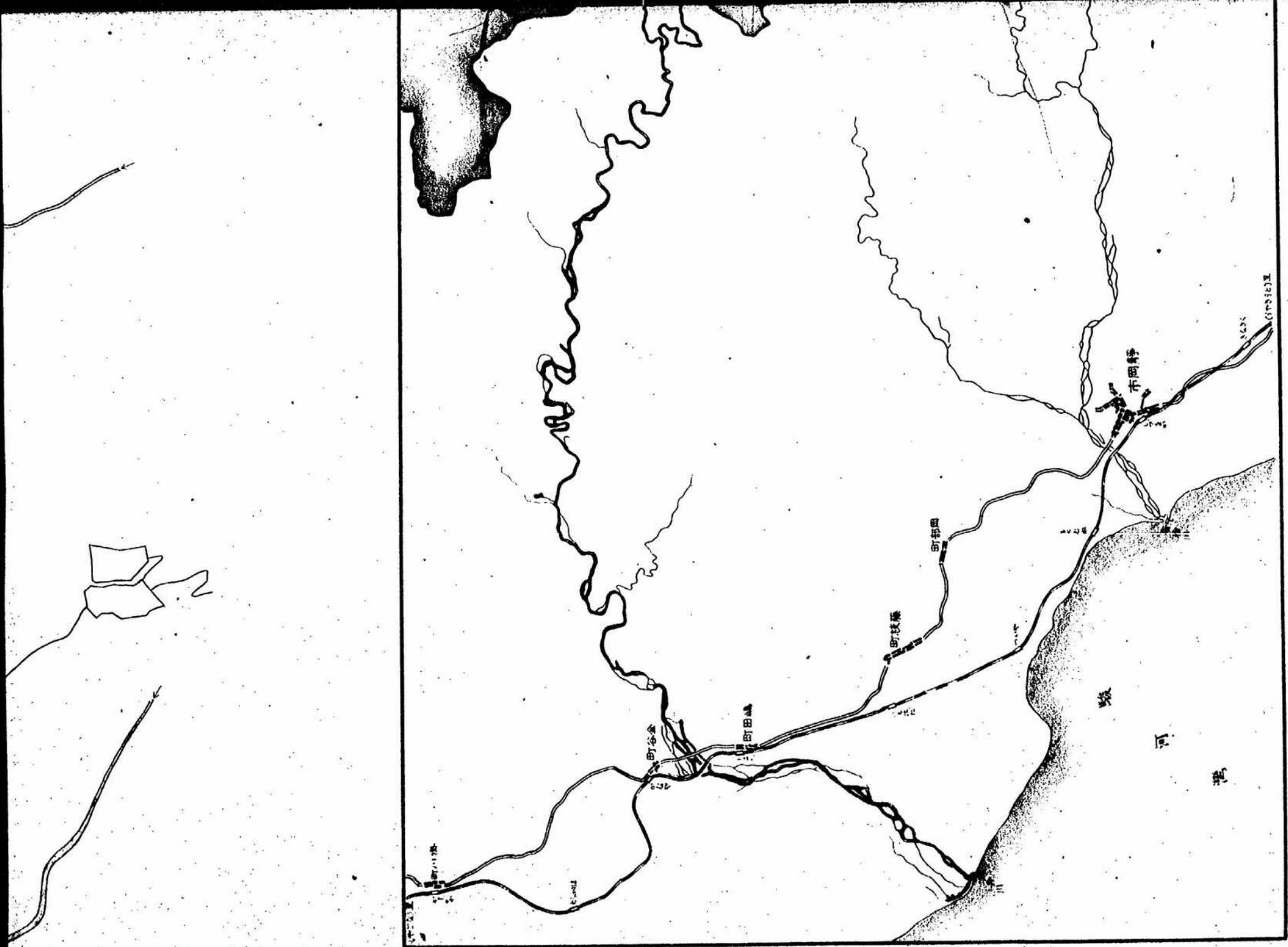
位置圖

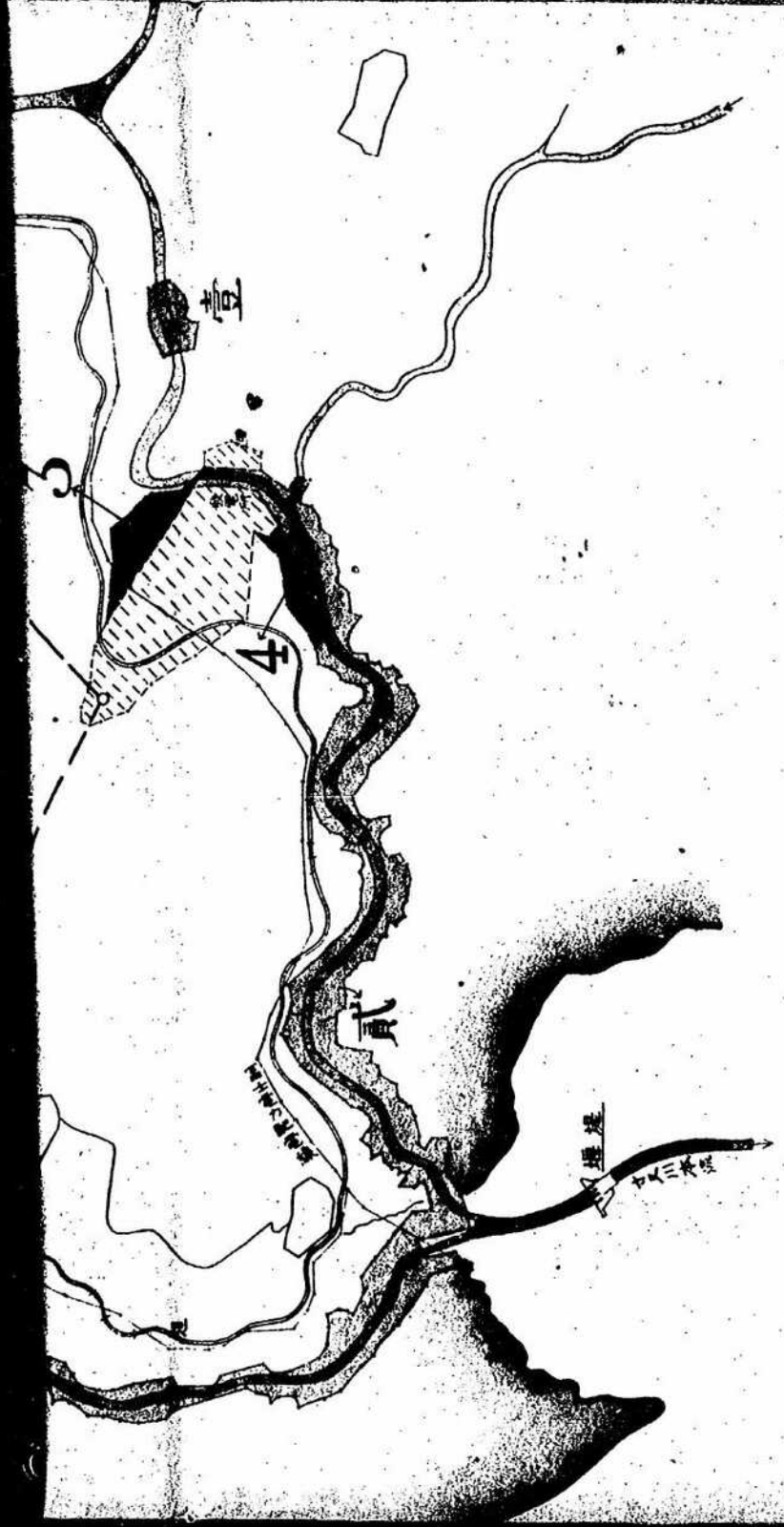


$\frac{1}{20000}$



千頭





● 地上權設定見込地 (諮詢第一號/分)

壹	土砂留堰堤敷	六段八畝貳拾參步
貳	貯水池敷	拾貳町七段四畝壹步
參	土砂留堰堤敷	四段六畝六步

● 地上權設定見込地 (諮詢第二號/分)

1	社宅敷	貳段六畝拾七步
2	溪流取水路敷	六畝九步
3	餘水路敷	壹町壹段壹畝拾六步
4	水路隧道敷	六段貳畝貳拾五步

8765

社人溪溢

孔流取水

宅通路

敷敷敷

六畝

畝

拾

六

步

壹畝

四畝

拾

五

步

貳畝

拾

七

步

御批准案

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐メル
大日本帝國天皇(御名)此ノ書ヲ見ル有衆ニ宣示
ス

朕昭和十三年七月五日東京ニ於テ帝國全權委
員ガ滿洲國及伊太利國ノ各全權委員ト共ニ署
名調印シタル伊太利國ヲ一方トシ日本國及滿
洲國ヲ他方トスル貿易及之ニ關スル支拂ヲ規
律スル爲ノ伊太利國政府日本國政府及滿洲國
政府間協定ヲ閱覽點檢シ之ヲ嘉納批准ス

神武天皇即位紀元

年昭和

年 月 日

ニ於テ親ヲ名ヲ署シ

璽ヲ鈐セシム

御名 國璽

外務大臣

伊太利國ヲ一方トシ日本國及滿洲國ヲ他方トスル貿易及之ニ關スル
支拂ヲ規律スル爲ノ伊太利國政府、日本國政府及滿洲國政府間協定

祕

伊太利國ヲ一方トシ日本國及滿洲國ヲ他方トスル貿易及之ニ關スル支拂ヲ規律スル爲ノ伊太利國政府、日本國政府及滿洲國政府間協定

伊太利國政府、大日本帝國政府及滿洲帝國政府ハ一方伊太利國ヨリ日本國及滿洲國ヘノ輸出總價額ト他方日本國及滿洲國ヨリ伊太利國ヘノ輸出總價額トヲ均衡ナラシムルノ基礎ニ於テ其ノ貿易ヲ發展セシメンコトヲ欲シ三國政府間ニ協定ヲ締結スルコトニ意見一致シ之ガ爲各其ノ全權委員ヲシテ左ノ諸規定ヲ決定セシメタリ

第一條

伊太利國政府ハ日本國及滿洲國ノ原産ニ係リ且之ヨリ來ル商品ニ對シ年次價額輸入割當ヲ保留スルコトヲ約ス右割當ノ表ハ本協定第二條ノ規定ニ從ヒ決定セララルモノトス
日本國政府及滿洲國政府ハ伊太利國ノ原産ニ係リ且之ヨリ來ル商品ニ對シ年次價額輸入割當ヲ保留スルコトヲ連帶シテ約ス右割當ノ表ハ本協定第二條ノ規定ニ從ヒ決定セララルモノトス
商品ノ原産地ハ原産地證明書ニ依リ之ヲ證明スルモノトス

第二條

前條ニ規定セラルル表ハ締約國ノ權限アル官憲ノ合意ニ依リ決定セラルベク伊太利國ノ原産ニ係
リ且之ヨリ來ル商品ノ日本國及滿洲國ヘノ輸入割當ハ之ヲ一體トシ其ノ總價額ハ日本國及滿洲國
ノ原産ニ係リ且之ヨリ來ル商品ノ伊太利國ヘノ輸入割當ヲ一體トスル總價額ト均等ナルベキモノ
トス

前記表ニ掲記セラルル割當ハ締約國ノ權限アル官憲ノ合意ニ依リ何時ニテモ之ヲ變更スルコトヲ
得ルモノトス

第三條

締約國ハ本協定ニ規定セラルル條件ニ從ヒ、第一條ニ規定セラルル表ニ掲記セラルル商品ノ買入
ニ關スル支拂ヲ該商品ニ關スル割當ノ範圍内ニ於テ賣買條件ニ從ヒ輸入國ニ於ケル規則ニ準據シ
商品ニ對スル支拂ニ必要ナル爲替ノ許與及自由送付ニ依リ決濟スルコトヲ約ス

第四條

第三條ノ規定ノ實施ニ依リ爲サルル一切ノ支拂及收納ニ關シ二箇ノ統計ノ爲ノ勘定ヲ作成スルモ
ノトス前記統計勘定ノ一ハ伊太利國ニ於テ國立外國爲替局ニ依リ作成セラレ他ノ一ハ日本國及滿

洲國ノ爲ニ横濱正金銀行ニ依リ作成セラルルモノトス

統計勘定ハ英貨「ポンド」ヲ以テ表示セラルルモノトス英貨「ポンド」以外ノ貨幣ヲ以テ契約セ
ラルル商品ニ付テハ其ノ價額ハ單ニ統計勘定ニ記載スル爲ニ夫々支拂又ハ收納ノ日ニ於ケル「ロ
ーマ」取引所ノ公定相場又ハ東京ニ於ケル相場ニ依リ英貨「ポンド」ニ換算セラルルモノトス

前記統計勘定ニハ日本國及滿洲國ニ輸入セラルル伊太利國ノ原産ニ係リ且之ヨリ來ル商品並ニ伊
太利國ニ輸入セラルル日本國及滿洲國ノ原産ニ係リ且之ヨリ來ル商品ニシテ第一條ニ規定セラル
ル各表ニ掲記セラルルモノノ買入ニ付第三國ニ在ル商店ニ依リテ爲サルル支拂及收納ヲモ記載ス
ルモノトス

商品ノ價額ハ船渡價格ニ依リ之ヲ計算スルモノトス

第一條ニ規定セラルル表ニ掲記セラルル商品ノ輸入又ハ輸出ニ關スル運賃、保險料及諸掛決濟ノ
爲日本國及滿洲國側ノ輸入業者又ハ輸出業者ニ依リ伊太利國側ノ會社又ハ個人ニ對シ爲サルル支
拂ハ伊太利國ニ於テ爲サルル收納トシテ統計勘定ニ記載セラルルモノトス

第一條ニ規定セラルル表ニ掲記セラルル商品ノ輸入又ハ輸出ニ關スル運賃、保險料及諸掛決濟ノ
爲伊太利國側ノ輸入業者又ハ輸出業者ニ依リ日本國及滿洲國側ノ會社又ハ個人ニ對シ爲サルル支

四
拂ハ日本國及滿洲國ニ於テ爲サルル收納トシテ統計勘定ニ記載セラルルモノトス

第五條

本協定ニ規定セラルル貿易ノ均衡狀況ヲ明ナラシムル爲メ國立外國爲替局及橫濱正金銀行ハ毎月前條ニ規定セラルル統計勘定ノ掲載狀況ヲ互ニ通知スルモノトス

毎六月ノ終ニ前記統計勘定ノ殘存勘定ヲ算出スルモノトス

統計勘定ノ結果ニ依リ伊太利國ガ當該六月間ニ第四條ノ所作ノ爲メ收納額以上ノ爲替額ヲ供給シタルコト明ト爲リタルトキハ伊太利國政府ハ伊太利國ニ不利ナル殘額ガ第一條ニ規定セラルル表ニ掲記セラルル伊太利國ノ原産ニ係リ且之ヨリ來ル商品ニ對スル日本國及滿洲國側ノ買入ニ依リ決済セラレザル限リ日本國及滿洲國ノ原産ニ係リ且之ヨリ來ル商品ノ輸入ニ對スル割當ノ許與ヲ爾後ノ六月ニ對シ停止スルノ權利ヲ有スルモノトス

同様ニ日本國及滿洲國ガ一體トシテ當該六月間ニ第四條ノ所作ノ爲メ收納額以上ノ爲替額ヲ供給シタルトキハ日本國政府及滿洲國政府ハ兩國ニ不利ナル殘額ガ第一條ニ規定セラルル表ニ掲記セラルル日本國及滿洲國ノ原産ニ係リ且之ヨリ來ル商品ニ對スル伊太利國側ノ買入ニ依リ決済セラレザル限リ伊太利國ノ原産ニ係リ且之ヨリ來ル商品ノ輸入ニ對スル割當ノ許與ヲ爾後ノ六月ニ對シ

停止スルノ權利ヲ有スルモノトス

第六條

國立外國爲替局及橫濱正金銀行ハ本協定ノ實施ニ必要ナルベキ技術的細目ヲ兩者間ノ取極ニ依リ決定スルコトヲ許可セラルルモノトス右取極ハ締約國ノ權限アル官憲ノ承認ヲ經ベキモノトス右取極變更ノ場合亦同ジ

第七條

伊太利國ノ原産ニ係リ且之ヨリ來ル商品ト日本國又ハ滿洲國ノ原産ニ係リ且之ヨリ來ル商品トノ間ノ私的求償取引ハ豫メ締約國ノ各權限アル官憲ノ許可ヲ得テ之ヲ行フコトヲ得ルモノトス

第八條

本協定ノ規定ハ

伊太利國ニ付テハ其ノ殖民地及屬地ヲ除ク伊太利國ニ屬スル一切ノ地域

日本國ニ付テハ日本國ニ屬シ又ハ其ノ管治スル一切ノ地域及屬地

滿洲國ニ付テハ滿洲國ニ屬スル一切ノ地域

ニ適用セラルルモノトス

第九條

本協定ハ批准セラルルモノトス批准書ハ東京ニ於ケル日本國政府ノ記録ニ寄託セラルルモノトス

伊太利國政府及滿洲國政府ハ東京ニ於ケル各其ノ外交代表者ヲ通ジ日本國政府ニ對シ批准濟ノ旨ヲ通報スルニ止ムルコトヲ得ベク此ノ場合ニ於テハ成ルベク速ニ批准書ヲ送付スルコトヲ要ス寄託調書ハ締約國ノ批准書ガ寄託セラレタルトキニ作成セラルルモノトス右ノ目的ノ爲ニハ前項ニ規定セラルル通告ハ批准書ノ寄託ト同一價值ヲ有スルモノトス

本協定ハ一年間效力ヲ有スベク右調書ノ日附ノ日ノ後八日ニシテ實施セラルルモノトス本協定ハ少クトモ其ノ期間滿了ノ三月前ニ廢棄セラレザルトキハ暗黙ノ更新ニ依リ六月ヅツ延長セラルルモノトス

右證據トシテ良好妥當ト認メラレタル全權委任狀ヲ有スル左ノ全權委員ハ本協定ニ署名調印セ

千九百三十八年、「フアシスト」曆十六年、昭和十三年、康德五年七月五日東京ニ於テ本書三通ヲ作成ス

伊太利國ノ爲ニ エットーレ、コンティ (印)

大日本帝國ノ爲ニ 宇垣 一成 (印)

滿洲帝國ノ爲ニ 阮振 鐸 (印)

ginaires et en provenance de l'Italie indiquées dans la liste prévue à l'article premier.

De même, dans le cas où le Japon et le Mandchoukouo auront globalement fourni, pendant le semestre en question, pour les opérations visées à l'article 4, un montant de devises supérieur à celui qui a été encaissé, le Gouvernement du Japon et le Gouvernement du Mandchoukouo auront le droit de suspendre, pour les semestres successifs, l'octroi des contingents d'importation des marchandises originaires et en provenance de l'Italie, tant que le solde en leur défaveur n'ait pas été réglé par les achats de la part de l'Italie de marchandises originaires et en provenance du Japon et du Mandchoukouo indiquées dans la liste prévue à l'article premier.

ARTICLE 6.

L'Istituto Nazionale per i Cambi con l'Estero et Yokohama Syōkin Ginkō seront autorisés d'arrêter par un arrangement entre eux les modalités techniques qui pourront être nécessaires à l'exécution du présent Accord. Ledit arrangement devra être homologué par les autorités compétentes des pays contractants. Il en sera de même en cas de modification dudit arrangement.

ARTICLE 7.

Les opérations de compensation privée entre les marchandises originaires et en provenance de l'Italie et celles originaires et en provenance du Japon ou du Mandchoukouo seront admises avec l'autorisation préalable des autorités compétentes respectives des pays contractants.

ARTICLE 8.

Les dispositions du présent Accord seront applicables :
pour l'Italie, à tous ses territoires, exception faite de ses colonies et possessions,
pour le Japon, à tous les territoires et possessions lui appartenant et administrés par lui et
pour le Mandchoukouo, à tous ses territoires.

ARTICLE 9.

Le présent Accord sera ratifié et les ratifications seront déposées aux archives du Gouvernement du Japon à Tôkyō.

Les Gouvernements d'Italie et du Mandchoukouo auront la faculté de se borner à faire connaître au Gouvernement du Japon, par leur représentant diplomatique respectif à Tôkyō, que la ratification a été donnée et dans ce cas, ils devront transmettre l'instrument aussitôt que faire se pourra.

Un procès-verbal de dépôt sera dressé lorsque les ratifications des pays contractants auront été déposées. A cette fin, la notification prévue à l'alinéa précédent équivaldra au dépôt de l'instrument de ratification.

Le présent Accord, valable pour un an, entrera en vigueur huit jours après la date de ce procès-verbal.

Cet Accord sera considéré prorogé par tacite reconduction de six mois en six mois, s'il ne sera pas dénoncé au moins trois mois avant l'échéance.

EN FOI DE QUOI, les plénipotentiaires ci-après, dont les pouvoirs ont été reconnus en bonne et due forme, ont signé le présent Accord et y ont apposé leurs cachets.

Fait en triple exemplaire à Tôkyō, le 5 juillet 1938,-E. F. XVI, 13 Syōwa, 5 Kangte.

(L. S.)	Pour l'Italie	Ettore Conti
(L. S.)	Pour le Japon	Kazushige Ugaki
(L. S.)	Pour le Mandchoukouo	C. T. Yuan

tion au Japon et au Mandchoukouo, globalement considérés, des marchandises originaires et en provenance de l'Italie soit égal au total en valeur des contingents d'importation en Italie des marchandises originaires et en provenance du Japon et du Mandchoukouo globalement considérés.

Les contingents indiqués dans les listes susdites pourront être modifiés, en quelque temps que ce soit, d'un commun accord par les autorités compétentes des pays contractants.

ARTICLE 3.

Les pays contractants s'engagent à régler, conformément aux conditions prévues au présent Accord, les paiements relatifs aux achats de marchandises indiquées dans les listes prévues à l'article premier et dans la limite des contingents y relatifs par l'octroi et par le libre transfert, selon les dispositions en vigueur dans les pays importateurs, des devises nécessaires au paiement des marchandises, conformément aux conditions de vente.

ARTICLE 4.

Deux comptes d'ordre statistique seront tenus pour tous les paiements effectués et les encaissements réalisés en exécution des dispositions de l'article 3. Un des comptes statistiques susdits sera tenu en Italie par l'Istituto Nazionale per i Cambi con l'Esterio et l'autre sera tenu pour le Japon et le Mandchoukouo par Yokohama Syōkin Ginkō.

Les comptes statistiques seront libellés en livre sterling; dans le cas de marchandises contractées en monnaie autre que la livre sterling, leurs montants en valeur, aux seules fins des enregistrements dans les comptes statistiques, seront convertis en livre sterling d'après le cours officiel de la Bourse de Rome ou le cours coté à Tôkyō, respectivement du jour du paiement ou de l'encaissement.

Aux comptes statistiques susdits seront aussi inscrits les paiements et les encaissements par des maisons établies dans un pays tiers pour des achats de marchandises originaires et en provenance de l'Italie, importées au Japon et au Mandchoukouo et de marchandises originaires et en provenance du Japon et du

Mandchoukouo importées en Italie indiquées dans les listes respectives prévues à l'article premier.

La valeur des marchandises sera calculée sur la base de prix F.O.B.

Les paiements effectués, par les importateurs ou les exportateurs du côté japonais et mandchou à des sociétés ou à des particuliers du côté italien pour le règlement des frais de transport, d'assurance et frais accessoires relatifs aux importations ou aux exportations des marchandises indiquées dans les listes prévues à l'article premier, seront inscrits dans les comptes statistiques comme encaissements réalisés en Italie.

Les paiements effectués, par les importateurs ou les exportateurs du côté italien à des sociétés ou à des particuliers du côté japonais et mandchou pour le règlement des frais de transport, d'assurance et frais accessoires relatifs aux importations ou aux exportations des marchandises indiquées dans les listes prévues à l'article premier, seront inscrits dans les comptes statistiques comme encaissements réalisés au Japon et au Mandchoukouo.

ARTICLE 5.

Dans le but de constater la situation de la balance des échanges visée au présent Accord, l'Istituto Nazionale per i Cambi con l'Esterio et Yokohama Syōkin Ginkō se transmettront chaque mois une situation des enregistrements effectués dans les comptes statistiques prévus à l'article précédent.

A la fin de chaque semestre, on établira les soldes des comptes statistiques susdits.

Dans le cas où, d'après les données des comptes statistiques, il résultera que l'Italie aura fourni, pendant le semestre en question, pour les opérations visées à l'article 4, un montant de devises supérieur à celui qui a été encaissé, le Gouvernement d'Italie aura le droit de suspendre, pour les semestres successifs, l'octroi des contingents d'importation des marchandises originaires et en provenance du Japon et du Mandchoukouo tant que le solde en défaveur de l'Italie n'ait pas été réglé par les achats de la part du Japon et du Mandchoukouo de marchandises ori-

ACCORD ENTRE LE GOUVERNEMENT D'ITALIE, LE
GOUVERNEMENT DU JAPON ET LE GOUVERNEMENT
DU MANDCHOUKOUO POUR RÉGLER LES ÉCHANGES
COMMERCIAUX ET LES PAIEMENTS Y AFFÉRENTS
ENTRE L'ITALIE D'UNE PART ET LE JAPON ET LE
MANDCHOUKOUO D'AUTRE PART.

Le Gouvernement d'Italie, le Gouvernement du Japon et le
Gouvernement du Mandchoukouo, animés du désir de développer
leurs échanges commerciaux sur la base de l'équilibre entre la
valeur globale des exportations italiennes au Japon et au Mand-
choukouo d'une part et la valeur globale des exportations japo-
naises et mandchoues en Italie d'autre part, sont convenus de
conclure un accord entre eux et ont autorisé à cet effet leurs
plénipotentiaires respectifs à arrêter les dispositions suivantes :

ARTICLE PREMIER.

Le Gouvernement d'Italie s'engage à réserver aux marchan-
dises originaires et en provenance du Japon et du Mandchoukouo
les contingents d'importation annuels en valeur dont la liste
sera arrêtée selon les dispositions de l'article 2 du présent
Accord.

Le Gouvernement du Japon et le Gouvernement du Mand-
choukouo s'engagent solidairement à réserver aux marchandises
originaires et en provenance de l'Italie les contingents d'importa-
tion annuels en valeur dont la liste sera arrêtée selon les disposi-
tions de l'article 2 du présent Accord.

L'origine des marchandises sera prouvée par un certificat
d'origine.

ARTICLE 2.

Les listes prévues à l'article précédent seront arrêtées d'un
commun accord par les autorités compétentes des pays contrac-
tants de sorte que le total en valeur des contingents d'importa-

秘

署
名
議
定
書

秘

ACCORD ENTRE LE GOUVERNEMENT D'ITALIE,
LE GOUVERNEMENT DU JAPON ET LE GOUVERNE-
MENT DU MANDCHOUKOUO POUR RÉGLER LES
ÉCHANGES COMMERCIAUX ET LES PAIEMENTS Y
AFFÉRENTS ENTRE L'ITALIE D'UNE PART ET LE
JAPON ET LE MANDCHOUKOUO D'AUTRE PART.

署名議定書

本日附ノ伊太利國ヲ一方トシ日本國及滿洲國ヲ他方トスル貿易及之ニ關スル支拂ヲ規律スル爲ノ伊太利國政府、日本國政府及滿洲國政府間協定ニ署名スルニ當リ下名全權委員ハ左ノ通意見一致セリ

第一條ニ付

- (一) 「年次」ナル語ハ本協定實施ノ日ヨリ起算スル一年ヲ指ス
- (二) 締約國ノ權限アル官憲間ノ合意ヲ以テ原產地證明書ハ締約國ノ一ノ認可ヲ受ケ設立セララルル輸出組合ニ依リ發給セララルル輸出統制證書又ハ類似ノ他ノ文書ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得ルモノトス

第五條ニ付

殘存勘定ガ相當額ニシテ且主トシテ運賃、保險料及諸掛ノ支拂ノ差異ヨリ生ジタル場合ニハ締約國ノ權限アル官憲ハ之ヲ是正スル爲協議決定スルモノトス

千九百三十八年、「フッシスト」曆十六年、昭和十三年、康徳五年七月五日東京ニ於テ本書ニ通テ
作成ス

エ
ット
ー
レ、
コン
テ
イ
成
宇
垣
一
振
阮
露

PROTOCOLE DE SIGNATURE.

Au moment de signer l'Accord entre le Gouvernement d'Italie, le Gouvernement du Japon et le Gouvernement du Mandchoukouo pour régler les échanges commerciaux et les paiements y afférents entre l'Italie d'une part et le Japon et le Mandchoukouo d'autre part en date de ce jour, les plénipotentiaires soussignés sont convenus comme suit :

AD. ARTICLE PREMIER.

- 1) Le mot " annuel " indique une année comptée à partir du jour de la mise en exécution du présent Accord.
- 2) D'un commun accord entre les autorités compétentes respectives, le certificat d'origine pourra être substitué par les licences d'exportation délivrées par les associations des exportateurs établies par l'autorisation de l'un des pays contractants, ou par d'autres documents similaires.

AD. ARTICLE 5.

Si le solde est substantiel et s'il est dû principalement à la différence des paiements de frais de transport, d'assurance et frais accessoires, les autorités compétentes des pays contractants se mettront d'accord afin de l'ajuster.

Fait en triple exemplaire à Tôkyô, le 5 juillet 1938,- E. F. XVI, 13 Syôwa, 5 Kangte.

Ettore Conti

Kazushige Ugaki

C. T. Yuan

極
秘

(本議定書ハ協定公布後モ公表セズ)

議

定

書

秘

PROTOCOLE DE SIGNATURE.

(不公表)

議定書

本日附ノ伊太利國ヲ一方トシ日本國及滿洲國ヲ他方トスル貿易及之ニ關スル支拂ヲ規律スル爲ノ伊太利國政府、日本國政府及滿洲國政府間協定ニ署名スルニ當リ下名全權委員ハ左ノ通意見一致セリ

- (一) 前記協定ノ規定ニ從ヒ伊太利國ヨリ日本國又ハ滿洲國ニ輸入スベキ機械、工作機械又ハ器具及此等ノ部分品ノ買入又ハ使用ニ關聯シ特許權ノ代價トシテ支拂フベキ金額アルトキ右金額ガ前記商品ノ價格ニ從屬的ナル場合ニハ該金額ハ前記協定第四條ニ規定セラルル統計勘定中ニ之ヲ記載スルモノトス
- (二) 締約國ハ前記協定第一條ニ規定セラルル表ニ掲記セラルル商品ノ價格ノ騰貴ヲ避クル爲右商品買入ノ際國際市場ニ於ケル同種商品ノ價格ヲ常ニ考慮シ必要ナルベキ一切ノ措置ヲ講ズルコトヲ約ス
- (三) 締約國ハ軍需品關係ノ買入ニ關シテハ最モ嚴密ナル祕密ヲ保持スル爲必要ナル一切ノ措置ヲ

講ズルコトヲ嚴肅ニ約ス

千九百三十八年、「ファシスト」曆十六年、昭和十三年、康徳五年七月五日東京ニ於テ本書三通ヲ作成ス

二

エ
ッ
ト
ー
レ
、
コ
ン
テ
ィ
字
垣
一
成
阮
振
鐸

(pas à publier)

PROTOCOLE.

Au moment de signer l'Accord entre le Gouvernement d'Italie, le Gouvernement du Japon et le Gouvernement du Mandchoukouo pour régler les échanges commerciaux et les paiements y afférents entre l'Italie d'une part et le Japon et le Mandchoukouo d'autre part en date de ce jour, les plénipotentiaires soussignés sont convenus comme suit :

1) Lorsqu'il y a une somme à payer en contre-partie d'un droit de brevet sujette à l'achat ou l'usage des machines, outillages ou appareils et leurs pièces à importer, conformément aux dispositions dudit Accord, de l'Italie au Japon ou au Mandchoukouo, ladite somme sera inscrite dans les comptes statistiques prévus à l'article 4 dudit Accord, au cas où cette somme est ancillaire aux prix des marchandises susmentionnées.

2) Les pays contractants s'engagent à prendre toutes les mesures qui pourront être nécessaires afin d'éviter des élévations de prix des marchandises indiquées dans les listes prévues à l'article premier dudit Accord en prenant toujours en considération les prix pratiqués pour les mêmes marchandises sur le marché international au moment de l'achat.

3) En ce qui concerne les achats afférents aux munitions de guerre, les pays contractants s'engagent solennellement à prendre toutes les mesures nécessaires pour que la confiance la plus stricte soit tenue à cet égard.

Fait en triple exemplaire à Tôkyô, le 5 juillet 1938,-E.F.
XVI, 13 Syôwa, 5 Kangte.

Ettore Conti

Kazushige Ugaki

C. T. Yuan

極秘

(本議定書ハ協定公布後モ公表セズ)

PROTOCOLE.

84

勅令第

號

鐵道省官制中左ノ通改正ス

第三條中「專任書記官ハ二十人」ヲ「專任書

記官ハ二十一人」ニ改ム

第十二條中「專任事務官五十九人」ヲ「專任

事務官六十二人」ニ改ム

第十三條中「專任技師二百二十三人」ヲ「專

85

任技師二百二十四人ニ改ム

第十四條中「專任屬八千二百二十九人ヲ

「專任屬八千二百四十八人」ニ改ム

第十五條中「專任技手千五百三十六人ヲ

「專任技手千五百四十四人」ニ改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第 號

臺灣總督府官制中左ノ通改正ス

第十七條第二項ヲ左ノ如ク改ム

文教局ニ附屬國民精神研修所ヲ置キ

國民精神ノ研修ニ關スル事務ヲ掌ラ

シム

第十九條第一項中「事務官 專任三十三

人 奏任為一人ヲ勅任ト「事務官」專
任三十三人 奏任為二人ヲ勅任ト「統
計官」專任一人 奏任「體育官」專任
一人 奏任「翻譯官」專任二人「翻譯
官」專任三人「屬」專任二百四十二人
ヲ「屬」專任二百四十五人「技手」專任
百六十二人 判任「技手」專任百
「體育官補」專任一

六十四人 判任ニ改ム
人 判任ニ改ム
同條第二項ヲ左ノ如ク改メ同條第三項
ヲ削ル

國民精神研修所ニ指導官專任一人ヲ
置ク奏任トス

第二十七條ノ三ヲ削リ第二十七條ノ二
ヲ第二十七條ノ三トス

第二十七條ノ二 體育官ハ文教局ニ屬シ上官ノ命ヲ承ケ體育運動及學校衛生ニ關スル事務ヲ掌ル

第二十七條ノ四 國民精神研修所指導官ハ上官ノ命ヲ承ケ國民精神ノ研修ニ關スル指導ヲ掌ル

第三十二條ノ二 體育官補ハ文教局ニ

臺三

屬シ上官ノ指揮ヲ承ケ體育官ノ事務ヲ助ク

第三十三條中「測候所」ヲ「國民精神研修所」ニ改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第

號

臺灣總督府地方官官制中左ノ通改正ス

第二條第一項中「地方理事官」專任三十

四人ヲ「地方理事官」專任三十六人ニ屬

專任五百二人ヲ屬 專任五百五人ニ

「技手」專任百六十六人ヲ「技手」專任百

七十一人ニ改ム

第二十七條ノ二第一項中「河川監視二十
三人以内」ヲ「河川監視三十人以内」ニ改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第 號

奏任文官特別任用令中左ノ通改正ス

「南洋廳警視」ノ次ニ「南洋廳通信事務官」ヲ

加フ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第

號

商工省物價事務官竝ニ北海道廳事務官
又ハ地方事務官ニシテ物價調整官ニ補
セラレ專ラ物價調整及貯蓄獎勵ニ關ス
ル事務ニ従事スルモノハ各其ノ職務ニ
必要ナル學識經驗ヲ有スル者ノ中ヨリ
高等試験委員ノ銓衡ヲ經テ特ニ之ヲ任

用スルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス